

「技術科」 授業のデザイン

授業者：坂野篤史

- 1 日 時 平成30年6月5日（火）5校時
- 2 学 級 1年1組
- 3 題 材（単元） 材料と加工に関する技術 3設計 8製図
- 4 本時の授業

（1）目標

キャビネット図、等角図で立体を作図する

（2）授業の取り組み

立体を平面にあらわすには、空間をイメージとして捉える力が必要である。中学校へ入学して間もない1年生の場合、その力の差が個人によって大きいように思われる。何かのきっかけでコツをつかみ作図できるようになることも多いので、グループでの学び合いを通してきっかけが持てるようにしたい。

（3）流れ

学習内容と学習活動	指導上の留意点等
<p>①本時の課題と流れを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%; text-align: center;">キャビネット図、等角図で立体を作図しよう。</div> <p>②基礎の課題</p> <p>キャビネット図と等角図の違いを確認する。</p> <p>③ジャンプの課題</p> <p>課題の問題を正確に作図する。</p> <p>④まとめ</p> <p>本時の自己評価を記入する。</p>	<p>*前時の復習、確認をする。 *キャビネット図の奥行きと角度。 *それぞれの図をかきかえられているか。 *外形線のみで作図できているか。</p> <p>*立体を頭の中で空間として捉えにくい生徒も、出来上がった図をみるとかきやすい場合がある。同じグループの生徒の作品を参考にして良いことをアドバイスする。</p> <p>*次時からは、製作する本立てを自分で設計することを知らせる。</p>